

内閣総理大臣杯第56回日本社会人ゴルフ選手権関西予選 第48回関西社会人ゴルフ選手権（決勝）

【とき】2025年9月17日（水）

【ところ】枚方カントリー倶楽部

＜主催＞スポーツニッポン新聞社

＜後援＞関西ゴルフ連盟、毎日新聞社

＜協賛＞アサヒビール

住友ゴム工業

洋服の青山

ローカルルール

- アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。ただし、第10番、12番ホールでは、現にプレーするホールの白杭を結ぶ線を越えて他のホールに止まった球はアウトオブバウンズの球とみなす。
- 修理地は青杭を立て、白線によってその縁を定める。
- レッドペナルティーエリアは赤杭または赤線によってその縁を定める。線と杭が併用されている場合は線がその縁を定める。
- 第5番ホールで球がレッドペナルティーエリアにあるか、見つからない球がレッドペナルティーエリアにある事がわかっているか、ほぼ確実な場合、プレーヤーは次の処置のいずれかを取る事ができる。
 - 規則17.1dに基づく処置
 - 1打の罰のとともに球を指定ドロップ区域にドロップ（区域は特設箇所ティで表示）
- ジェネラルエリアにある排水溝はジェネラルエリアにある動かせない障害物とする。
- 電磁誘導カート用の2本のレールは、その2本のレールの全幅をもって1つのカート道路とみなす。
- 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- 防球ネットからの救済を受ける場合は、その障害物の上を越えたり、中や下を通すことなく完全な救済のニヤレストポイントを決定しなければならない。このローカルルールに違反して誤所から球をプレーしたことに対する罰：規則14.7aに基づく一般の罰。
- 規則5.5bは次のように修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない：
 - 終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
 - 終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこする、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。
- 危険な状況のためのプレーの中止は、1回の長いサイレンによって伝えられる。その他すべての中止は、短いサイレンの繰り返しによって伝えられる。どちらの場合も、プレーの再開は1回の長いサイレンによって伝えられる。（規則5.7b参照。）
- 規則5.2bは次のように修正される：プレーヤーはラウンド前やラウンドとラウンドの間にコース上で練習してはならない。

注 意 事 項

1. 委員会は競技中を含めいつでも出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことがある。
2. プレーヤーはエチケット違反、または非行があった場合には制裁を受けることがある。また、重大な非行があった場合には規則1.2aに基づいて失格とする場合がある。
3. プレーの進行に留意し先行組との間隔を不当にあけないよう注意のこと。プレーを不当に遅らせた場合はペナルティを課す。
4. 競技委員会は規則1.2bに基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができます。
5. 練習は指定練習場にて行い、打撃練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1コイン（24球）を限度とする。
6. ローカルルールに追加、変更のあるときは、大会受付場所付近に告示する。
7. プレー中は、帽子（バイザー可）を着用すること。
8. 会場となる俱楽部の服装規定を遵守すること。服装規定に違反があった場合、初回は注意し、着替えてもらうことが望ましい。改めない場合、競技委員会は競技中を含め、いつでも競技者の参加資格を取り消すことができる。
9. コース内は、携帯電話の使用をしないこと。
10. 競技中に発生した疫病や紛失、破損、その他の事故等に際し、主催、協賛、運営、後援、協力等の各団体は一切責任を負わない。
11. ティーマーカーは、一般クラスは青色、シニアクラスは白色とする。
12. クラブハウス、練習場は、午前6時30分よりオープンします。

【日本選手権出場資格】

本大会の一般クラス上位21名とシニアクラス上位10名に、11月13日（木）、14日（金）に兵庫県・宝塚ゴルフクラブ新コースにて開催される「内閣総理大臣杯第56回日本社会人ゴルフ選手権」の出場資格を付与する。なおタイが生じた場合はマッチング・スコアカード方式にて出場者を決定する。

競技委員長